

揺れる前に、地震の発生をお知らせ 緊急地震速報 が10月から開始

大きな揺れが来る直前に、地震の発生をテレビやラジオなどで知らせる気象庁のシステムです。速報では、震度5弱以上の地震が発生すると予想された場合、震度4以上の揺れが見込まれる地域をお知らせします。

詳細は気象庁ホームページをご覧ください www.seisvol.kishou.go.jp/eq/EEW/kaisetsu/index.html

どうやって知らせるの？

テレビ、ラジオのほか、今後、携帯電話や、病院、学校などの公共施設、交通機関などで利用が広がる予定です。

どんなお知らせがくるの？

数秒～数十秒前に、警報音と共に「地震が発生しました。強い揺れがきます」などの速報が流れます。

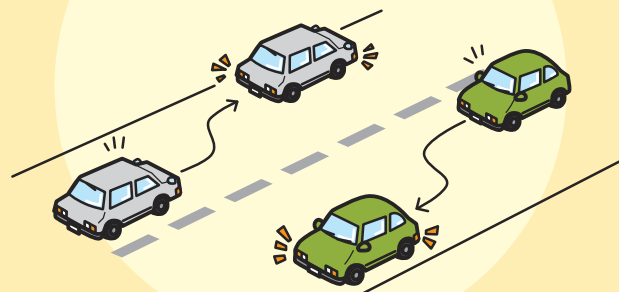
速報を聞いたらいかにすればいいの？

慌てず、
落ち着いて
行動しよう

① 家では頭を保護し、机の下などに隠れる



② 自動車を運転している場合は、ハザードランプを点灯し、ゆっくり停止する



食料や水など市の準備はどうなっているの？

市では、次のような準備をしており、災害時に各避難場所で提供するほか、スーパーや運送会社の協力で、食料品や生活用品を順次お届けします。

食料生活物資

非常食17万食、毛布2万枚、寝袋2万8千個、簡易トイレ1万1千個、赤ちゃん用の粉ミルクなどを、市内101カ所の避難場所や倉庫に分散して保管しています。



↑約13万人の市民が24時間以内に必要となる量を市内各所に分散して保管



水

市内28カ所の緊急貯水槽などに、一人1日3リットルとして約63万人の3日分の飲料水を確保しています。

→平成16年の新潟県中越地震の際に札幌市の給水車が派遣され、飲料水の運搬、給水を行いました



備えあれば憂いなし

地震がいつ起こるかを予測するのは非常に難しいことです。そのため、いつ地震が起こっても慌てないように、日ごろの準備が大切になります。家族で避難場所について話し合ったり、非常持ち出し品を準備したりして、「自分の身は自分で守る」という意識を持って行動してほしいですね。市でも、地震被害想定を見直し、災害時の対策などをまとめた防災計画の修正を行うなど、防災対策を充実させていきます。



危機管理対策室長
原田 泰明